

大学発新産業創出プログラム 社会還元加速プログラム(SCORE) チーム推進型
事後評価結果

研究開発課題名:	手軽に有機栽培ができる濃縮有機液肥の生産技術に関する事業化検証
研究担当者(所属・役職・氏名)	九州大学 大学院農学研究院 教授 矢部 光保

1. SCORE での活動目的

本プログラムの目的は、有機性廃棄物由来のメタン発酵消化液から抽出された濃縮バイオ液肥(Bio-CLF®)のビジネスモデルの構築とその農産物品質改善効果に関するデータの取得である。具体的には、メタン発酵消化液から窒素、リン、カリウムの肥料成分を分離濃縮回収するという技術シーズに基づき、メタン発酵消化液の処理に困っている事業者から消化液を入手し、家庭菜園で手軽に有機栽培ができ、環境保全にも貢献し、上質な食生活が送れるような Bio-CLF®の生産と販売に向け、ビジネスモデルの検証を行う。また、Bio-CLF®の有効性を検証するため、分離濃縮回収された肥料成分を用いて、野菜の栽培試験を行い、厳密な栽培データを得て、ビジネスモデルの現実化・高度化を図る。

2. 総合所見

顧客候補を有機栽培農家に切り替え、原料であるメタン発酵消化液の供給元である自治体や畜産業者へのヒアリングを着実に実施することで、ビジネスモデルを適切に構築した点を評価する。濃縮有機液肥の効果についての技術検証も着実に進んでおり、循環型農業のモデルとして事業化を実現することに期待する。

以上